

～新渡戸記念の～

『言葉の院外処方箋』

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

第11回『「医療の社会貢献」の3か条 ～ 使命の地道な継承 ～』

先週末（6月27日）『「がん哲学外来 メディカルカフェ in 世田谷深沢」 オープン記念講演会』に赴いた。参加者から写真が送られて来た（添付）。感激した。筆者は、「コロナ時代の教養」と「勝海舟、新島襄、内村鑑三、新渡戸稲造、南原繁、矢内原忠雄」について、さりげなく語った。会場からは、多数の質問もあり、大変充実したひと時であった。改めて、「言葉の処方箋」の重要性を再確認する時ともなった。「医療の社会貢献」の基本理念でもあろう！

「医療の社会貢献」の3か条

1. 話せる場所があるだけで、問題解決にはならないが解消になる。
2. 全ての患者ニーズに応える。患者と同じ目線で語る。
3. 純度の高い情報と知識をもち、患者の自由意志を尊重する。

7月も定例の「がん哲学外来 in 新渡戸稲造記念センター」&「音読会」が開催される（次ページ）。新渡戸稲造が初代理事長を務めた「新渡戸記念中野総合病院」の「使命の地道な継承」である。



東京医療生活協同組合 新渡戸記念中野総合病院 がん哲学外来

後援：一般社団法人 がん哲学外来



樋野興夫
一般社団法人 がん哲学外来理事長
新渡戸稲造記念センター長

本館6階「新渡戸稲造記念センター」にて、樋野興夫センター長による「がん哲学外来」が始まりました。「がん哲学外来」は、がんにまつわる様々な悩みを対話を介して解消する外来です。

外来は予約制で1回あたり約50分(1日4組まで)。外来には費用はかかりません。患者ご本人でも、ご家族の方でもお申込みができます。

※当事業は東京医療生活協同組合の組合員の方を対象にしております。東京都内で住所がある方、または東京都内の企業に勤務されている方であれば、どなたでも組合への加入の資格があります。お手続は出資申込書の記入・出資金(1口200円、5口1,000円以上)となります。ご希望の方は事務局までご連絡ください。

～開催予定～

7/1(水) 7/6(月) 7/13(月)
7/21(火) 7/28(火)
8/3(月) 8/11(火) 8/18(火)
8/25(火) 8/31(月)

予約お申込み先(電話のみでの対応となります)
(※原則前日の16:30で締切となります。当日は応相談)
患者支援センター
03-3382-1507(9:00～16:30)

第3回 音読会 ～武士道 新渡戸稲造～

日時：2020年7月16日(木) 18:00～
場所：2号館3階会議室

武士道

新渡戸稲造著
矢内原忠雄訳



「武士道はその表裏とも桜花と同じく、日本の土地に固有の花である。」——こう説きおこした新渡戸(1862-1933)は以下、武士道の源流・特質、民衆への感化を考察し、武士道がいかにして日本の精神的土壌に開花結実したかを説き明かす。「太平洋の潮風」たちんと志した人に出会わねば、その論議は常に世界的コンテクストの中で展開される。



青 118-1
岩波文庫

樋野興夫新渡戸稲造記念センター長を囲んで、新渡戸稲造先生をより深く理解するために「武士道」の読書会(輪読会)を開催いたします。



※この会は業務ではなく、サークル活動ですので、お気軽にご参加ください。
1時間半～2時間程度を予定しています。

各自、新渡戸稲造著「武士道」
(岩波文庫/矢内原忠雄訳)をご持参の上ご参加ください

※会場の都合上、参加希望の方は
患者支援センター高村(内線:214)までご連絡ください。